

平成26年度 第1回地域生活支援部会 事例

NO.	区・ 関係機関	障害種別	年齢	性別	犯罪歴	本人状況・家族関係・居住状況	支援内容・連携
1	南	知的(B)	30代	男	ホームセンターで大きな物の盗みを繰り返す・刑務所で暴力	自閉症	刑務所の特別調整で社会福祉士と連携。
2	西・指定	知的	40代		コンビニ等で窃盗	親なき後、単身。ロングショート利用。	作業所でソーシャルスキル。指定相談事業所、地域定着支援センター、権利擁護サポートセンター(後見)、基幹Cが関与。
3	西・指定		20代	男	ATM放火・窃盗(執行猶予が付いた)	コロニー⇒「つばさ」⇒サ高住(作業所に通所)へ	地域福祉課から区協議会で挙がっていた地域で難しいケースだった。地域定着支援センター(「つばさ」でのモニタリングに同席し、外部的に意見してくれた)、基幹C、障更相と連携。つばさでSST(人との距離、挨拶、座って話す)。つばさに入る前に障更相のプログラムを利用。
4	東・指定	知的	50代 ×2名			コロニー⇒「つばさ」へ	
5	就ポツ	知的			会社内で知的同士の暴力行為(繰り返し)。被害者は発信できない方だったので、気づけなかった。	就労移行支援し、今は別会社へ。	傷害事件にならないように収めた。SSTをもっと早くに受けていれば。
6	西・指定	自閉症	50代	男	パン泥棒を繰り返し、最終的には他人宅に入りお金を盗む	こだわりが強い。収集癖。手洗い強迫。幼い頃は学校に行かずタクシー運転手の父の助手席で過ごす。10年以上、在宅。SS⇒精神科HP入院。構造化し退院⇒サ高住へ	満期出所であったため、保護観察官が付かなかった。出所後、家族不在(父…死亡、母…認知症)が発覚。近所の方が地域福祉課へ連絡し、関与。
7	就ポツ	聴覚 (知的?)	40代	男	ハローワークで紹介された弁当屋で同僚と喧嘩(怒りがおさえられない)	1人暮らし。近所に親(生保世帯)。料理できる。過去に殺人を犯したため刑務所に入っていたことが判明。文字手話しか分からない。ろう学校で、通常は手話を習うが、本人は、「聴覚障害でなく難聴だ。少し聞こえている」と主張し、習わず。孤独。人が恋しさ。寂しさ。行動に出るしかなかった。相手の理解不足。	視覚・聴覚障害者Cのビデオライブラリー利用から始まり、応援依頼があった。地域福祉課だけが情報を持っていた。手話サークルに繋ぐと本人の心に響いたようだ。「ジョブサポートほくぶ」が関与。

平成26年度 第1回地域生活支援部会 事例

NO.	区・ 関係機関	障害種別	年齢	性別	犯罪歴	本人状況・家族関係・居住状況	支援内容・連携
8	就労移行	軽度知的 (発達)			子どもの首を絞める。妊婦を蹴る (不起訴となり示談処理)。何度 か補導歴あり。施設内の暴力は 頻繁。	パトカー、救急車をみると機嫌が悪く なり、他人を殴る。年々不安感が増し ている。両親75歳以上。家の近所で暴 力行為があった。こだわりが強い。	問題行為があるたびにHP入退院を繰り返す。作業 所へ週3回。奈良の自然が多いSSを月1回。
9	就労移行				痴漢行為(作業所へ行く途中で 警察に捕まった)	今は1人暮らし。以前は家族と住んで いたが、母(精神)、弟(刑務所)は本 人へ虐待行為。	今は、ヘルパー支援、権利擁護サポートセンター(金 銭管理)が関わり。
10	中・就ポツ	知的	50代		財布から現金を盗む。作業所の 清掃業務先の現場で盗む。(逮 捕されたことはない)	高齢の母と二人暮らし。	叔父が金銭管理。受け入れ可能な作業所が見つか らない。条件は、「盗み癖」をどう更生させるか。今 は、障更相のプログラムを受けている。
11	こころ				医療観察法の対象者		
12	こころ				脱法ハーブ使用		
13	東	知的	30代		シンナー中毒、万引き(刑務所の 入出所を繰り返している)	1人暮らしだった。母…施設入所。SS 利用(無断外泊)⇒美原HP入院(無断 外泊)⇒一旦支援を自ら離れた⇒急 性期HP(行旅病棟)で発見⇒悪友と縁 切ると約束しGH入居へ。	万引きで捕まったが、警察からすぐに釈放となった。 釈放理由は、手厚い支援が付いていること。再度刑務 所に入れても本人にも社会的にもプラスにならない こと。こころ健康C、保健C、基幹Cが関与。
14	北		20代	男	性犯罪(不起訴)	現在は、サ高住(日中活動で通所) へ。	検察庁で立件されそうなケースがあったが、相談員 の意見の聞き取りがあり、不起訴となった事例が あった。フットプリントで環境調整を行った。サ高住で は、女性と接触させないようにしている。
15	精神科HP	知的・ 発達・ 軽度な 統失	40代	男	マンション内で女性に抱き付き、 3か月留置	精神科HP入院⇒サ高住(タバコを盗 る)⇒サ高住(タバコのためスタッフを 殴る)⇒精神科HP⇒救護施設⇒精神 科HP⇒シェアハウスを2度断られる⇒ 精神科HP近くの単身アパートへ。	警察に訴えられないだけの知恵がある。こだわりが ある。昼はずっと外にいる(パターンあり)。金銭管理 できないため、日常生活自立支援事業を利用(3日 に1回)し、関係性を作れば自由にさせてあげた方が 良い。集団よりも個人へ。保健Cが関与。